

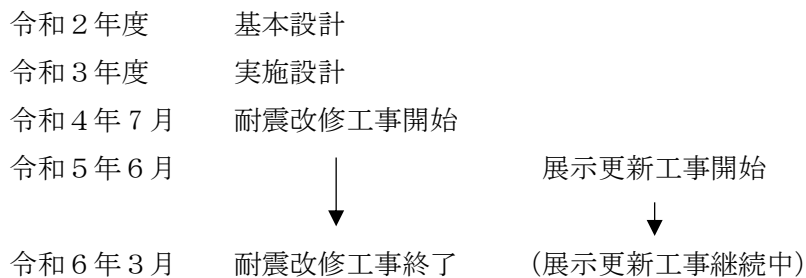
報告事項 相川郷土博物館耐震改修事業

1 事業目的

史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画に基づき、旧鉱山本部事務所として利用された歴史を踏まえ、近現代の佐渡鉱山を紹介するサテライトガイダンス施設として整備する。

昭和 28 年佐渡鉱山大縮小に伴い市へ売却された直後～昭和 31 年博物館改修時の姿に復元するとともに、建造物修理とあわせ、来訪者の安全確保のための耐震補強工事を実施する。

2 改修方針及び経過



解体を進める中での調査により、旧鉱山本部事務所は工部省時代建築の可能性、御料局佐渡支庁跡は明治 20 年代半ば頃建築とみられることを再確認することができた。明治時代に建築された部分など文化財的価値のある箇所が発見されており、それらについて可能な限り現存保存することとした。

3 今後について

耐震改修工事の工期延長により、展示更新工事の工期も延長する。リニューアルオープンは、当初令和 6 年 4 月 1 日を予定していたが、令和 6 年 5 月下旬頃となる見込みである。

令和 6 年度中に、改修工事報告書の作成を予定している。

写真 No.1 工事前空撮



写真 No.2 工事後空撮



写真 No.3 旧御料局佐渡支庁 外観 (外壁の塗装等実施)



写真No. 4 旧鉱山本部事務所東棟・西棟 外観(正面から) (外壁の塗装等実施)



写真 No.5 旧鉱山本部事務所西棟 外観(西側から)(外壁の塗装等実施)



写真 No.6 旧鉱山本部事務所東棟 西側展示室



写真 No.7 旧鉱山本部事務所東棟 西側展示室天井（既存部材との区別のため新規材は塗装しない）



写真 No.8 旧鉱山本部事務所東棟 西側展示室天井 英字新聞（アクリル板で見えるようにしている）



写真 No.9 旧鉱山本部事務所東棟 西側展示室（既存部材との区別のため新規材は塗装しない）



写真 No.10 旧鉱山本部事務所東棟 東側展示室



写真 No.11 旧鉱山本部事務所東棟 通路(東側)



(窓から北沢浮遊選鉱場跡が見える。)

写真 No.12 旧鉱山本部事務所東棟 通路(南側)



写真 No.13 渡り廊下 (既存部材との区別のため新規材は塗装しない)



写真 No.14 旧御料局佐渡支庁 1 階廊下・階段



写真 No.15 旧御料局佐渡支庁 1 階 展示室(鉱山長室)



写真 No.16 旧御料局佐渡支庁 2階 展示室（既存のリノリウムを現存保存）



写真 No.17 旧鉾山本部事務所西棟 学芸員室

